

別記様式第2号

第1回台東区消防団運営委員会議事録

開催日時	平成29年2月14日（火）13時30分から14時30分まで
開催場所	台東区役所10階1002会議室
諮問事項	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、消防団の活動能力を強化するための方策はいかにあるべきか
出席者 (敬称略)	委員長 服部征夫（区長） 委員 和泉浩司（都議会議員）、黒田収（浅草防火協会会長）、小幡拓也（日本堤防火協会会長）太田雅久（区議会議員）、望月元美（区議会議員）、久保田幸雄（上野署長）、野村功嗣（浅草署長）、西原健治（日本堤署長）、関隆一（上野団長）、石川俊（浅草団長）、石原英一（日本堤団長）
欠席者	中山寛之（都議会議員）、大橋良（上野防火防災協会会長）
傍聴者	0名
配布資料	1 台東区消防団運営委員会名簿 2 前回の各区答申を踏まえた対応方針について 3 諮問書 4 今回諮問に対する答申検討の方向性 5 台東区内消防団の主な装備資器材 6 消防団員に対するアンケート調査案 7 今後の審議予定
審議次第	1 開会 2 委員長あいさつ 3 委嘱状の交付及び委員の紹介 4 報告 5 議事 6 閉会

発言者	発言内容
司会 (吹澤危機管理室長)	ただ今から、第1回消防団運営委員会を開催させていただきます。 なお今回の運営委員会から東京都付属機関等設置運営要綱に準拠しまして、委員会終了後議事録を公表させていただきますので予めご了承ください。では、開会にあたりまして委員長の服部区長から挨拶をお願いいたします。
委員長 (台東区長)	このたびは、公私ともにお忙しいところご出席いただきまして誠にありがとうございます。昨年末、新潟県の糸魚川市で大規模火災が発生し、120棟が全

	<p>焼するなど多くの家屋が被災をいたしました。また、熊本地震をはじめ台風等による風水害の発生などにより全国各地で甚大な被害が出ている状況にあります。そして、首都圏では、今後 30 年以内に 70% の確率で、首都直下地震が起こる予測をされています。このような状況の中、区民の安全安心を確保していく上で、地域に根差した消防団の活動は大変重要であり、また、区民の期待も大いに高まっています。本日の委員会では、今年度、都知事から諮問がありました「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて消防団の活動能力を強化するための方策について」ご審議いただきます。委員の皆様には忌憚のないご意見をいただき、ご審議を賜りますようよろしくお願いをいたします。以上です。</p>
<p>司 会 (吹澤危機 管理室長)</p>	<p>審議に入ります前に、委嘱状の交付及び委員の紹介をいたしたいと思えます。時間の都合上、机上配布とさせていただきます。</p> <p>学識経験者であります都議会議員の中山寛之委員は本日欠席でございます。上野防火防災協会長の橋本良様でございますが、本日、所要で遅れるというご連絡をいただいております。</p> <p>(資料 1 「消防団運営委員会名簿」により紹介) (事務局の紹介)</p> <p>これからの議事の進行につきましては、委員長にお願いいたします。</p>
<p>委 員 長 (台東区長)</p>	<p>それでは、報告及び議事に入ります。</p> <p>まず、最初に前回の答申結果及び今回の諮問事項と主旨等について事務局からご説明願います。</p>
<p>事 務 局 (日本堤 警防課長)</p>	<p>資料 2 「前回の各区答申を踏まえた対応方針について」</p> <p>資料 3 「諮問書」</p> <p>資料 4 「今回諮問事項に対する答申検討の方向性」</p> <p>資料 5 「台東区内消防団の主な装備資器材」</p> <p>資料 6 「消防団員に対するアンケート調査案」</p> <p>以上を説明</p>
<p>和 泉 委 員</p>	<p>アンケートをとって現場の団員のみなさんから要望をしっかりと聞いて、装備品の充実を図る事は、大変重要なことだと思いますので、ぜひ 2020 大会に向けて、そこは頑張っていたきたいと思っています。</p> <p>ところで、2019 大会 (ラグビー W 杯) については都の方であんまり何も言っていないという認識でいいのですか？</p>
<p>事 務 局 (日本堤</p>	<p>今のところまだ動きは出ていないと思われま。情報として入ってきてございませませんが、いずれにしても大きな大会でございますので、可能性としてはあ</p>

警防課長)	<p>るのかなというような状況だと思います。もし、ありましたら、区と連携しまして情報を共有してもらいたいと思いますのでよろしくお願いいたします</p>
和泉委員	<p>2020大会はとにかく、とてつもない大会だと思います。その準備のために東京都では130名の職員、3億2000万のお金をかけてリオに送って、いろいろさまざまな勉強してきたと我々も報告を受けています。2019年度の大会があるわけですから、シュミレーショナルな形でもしっかりそれを2020年大会に活かせるように全団員とかそういうことではなく、何割かの団員がそういった警備体制をどういうふうにとった方がいいのか都と連携をして2019年大会を試金石というそういうものでぜひ活用するくらいの気持ちでやっていただければ、その2019年度を踏まえて2020年をしっかりと成功に導いていくというそういう流れがせつかく国際大会が行われるわけですから、千載一遇のチャンスと捉えて今後を考えていただければと思います。そのことだけ言っておきます。</p>
事務局 (日本堤警防課長)	<p>貴重なご意見ありがとうございます。ぜひそういった方向で前向きに進めてまいりたいと思います。</p>
委員長 (台東区長)	<p>方針は来年のいつでしたか？方針が出る時期。</p>
事務局 (日本堤警防課長)	<p>3月に入ってからでございます。3月31日でございます</p>
委員長 (台東区長)	<p>30年の3月31日までにとのことですよね？そうするとこれもワールドカップに間に合うというか、要するに2020大会を視野に入れつつ、その前にワールドカップがあるわけですから、30年度にそれをやったら、その方向にむけて、装備あるいは教育等をやっていけば、その対応はできると思うのですが、ただそういう視点が、我々にないと、ただ2020に向けてということではなくて、もう2019に向けての対応を頭に想定しながら早く準備を進めていくということではすね、ぜひやっていきたいというか、やってください。それがやはり、今、和泉さんからお話しがあったようなことだと思いますから、このアンケートの設問等についても、その辺のこともオリンピック大会の集計というよりも、いろんな大きなものに違いないけれども、ただそれに似た、というか、どういった警備体制になっていくかわからないけれども、それは非常にいいじゃないですかね、こういうことを想定してやっていくというこ</p>

<p>事務局 (日本堤 警防課長)</p>	<p>とは。どうでしょう？</p> <p>貴重なご意見ありがとうございます。消防団に限らず、消防署、また区の皆さんと連携しながらやっていく方向性ということと、そのアンケートの方も、まだアレンジを加えましてオリンピックに限らず、ダブルといいますか、今回スケジュール的に申しますと、年度明けの4月・5月にこれを団員に配りまして回収をして、次回の消防団の運営委員会の時に、お示ししようという予定でございましたので、できるだけそちらの方もどういったアンケートができたのかというのもできれば皆様にお示しできればと考えてまいりたいと思います。</p>
<p>和泉委員</p>	<p>台東区には、ラグビーの会場はありません。しかし、国際観光都市という上野と浅草また谷中も最近インバーダーのお客様増えています。日韓共同開催の時には、浅草ブロードウェイエリアにかなりの数の外国人の方がお泊りになりました。日本堤の管内ではありますが、当然上野も浅草橋も含めてたくさんの来外者が想定されます。ですから、その辺の来外者対策、また国際化というものここに含まれますけど、さらなるスピードアップしてやっていただければと思っております。また、外国人の方が救急呼ばれて、救急隊の方がなかなか言葉が通じないとかそういうさまざまなことがあってもいけないですからそういったところもぜひ頑張ってもらっていただきたい。</p>
<p>会社 (吹澤危機 管理室長)</p>	<p>ほかにご意見ありますか？</p> <p>それでは、台東区消防団運営委員会の今後のスケジュールについてご説明申し上げます。</p> <p>今後のスケジュールにつきましては資料7をご覧くださいと思います。今後の運営委員会のスケジュールにつきましては、他の行事予定と鑑みまして、第2回を平成29年7月下旬に第3回を平成30年2月中旬に開催する予定とさせていただきます。詳細の日程につきましては各員のご予定等をお伺いしながら決めてまいりたいと思いますのでどうぞよろしく願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、本日の審議は終了させていただきたいと思います。</p>